

氷川町ふれあいネットワーク



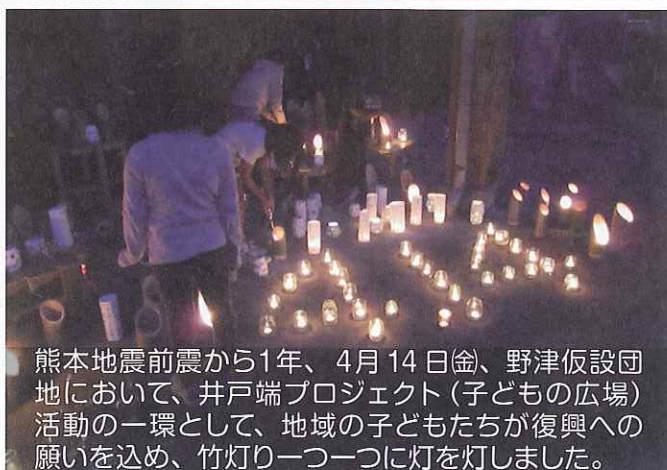
社協だより

平成29年5月1日

第70号

— 発行 —
社会福祉法人
氷川町社会福祉協議会

復興への願いを込めて



熊本地震前震から1年、4月14日(金)、野津仮設団地において、井戸端プロジェクト(子どもの広場)活動の一環として、地域の子どもたちが復興への願いを込め、竹灯り一つ一つに灯を灯しました。



この社協だよりは、共同募金の配分を受けて発行しました。

平成29年度 社会福祉協議会事業計画

○基本方針

1 「共に支え合う安心して暮らせるまち」をめざします。

少子高齢化の進展、ノーマライゼーションの視点から障がいのある方も在宅・地域で暮らす社会づくりが進む中、一人ひとりが抱える福祉課題も多種多様化、深刻化してきています。これら福祉課題を公の制度・施策だけで解決することは難しい状況にあります。今後、福祉課題を解決するためには、自助、共助、公助の役割分担、連携が重要になってきます。

社会福祉協議会では、「公助」との連携を図りながら、福祉課題やその解決の方向性を皆様方と共有し、「地域で支え合う共助」の体制づくりに取り組みます。

2 地域福祉活動のキーステーションをめざします。

地域で活動している福祉関係機関・団体の交流・連携を図り、支援を必要とする人と支援をする人を適切に結び付けるコーディネート機能を強化し、地域福祉活動のキーステーションをめざします。

○重点目標

- 1 被災者の生活再建に向けた支援に取り組みます。
- 2 総合相談窓口の充実を図ります。
- 3 地域で支えあう活動の基盤となる「ふれあいいきいきサロン」の充実に取り組みます。
- 4 地域包括ケアシステムの体制づくりに取り組みます。
- 5 職場（福祉の仕事）体験の場の提供に取り組みます。

I 法人運営事業

○組織、機構の整備

○会員加入促進

II 地域福祉推進事業

○広報、啓発事業

分かりやすい福祉サービスの情報提供を目指し、社会福祉協議会の活動内容、地域で行われている福祉活動、福祉サービス制度の紹介等を行うことにより地域で支えあう福祉活動への理解を深めることを目的に、啓発活動に取り組みます。

☆社協だよりの発行

☆ホームページの運用

☆福祉大会の開催

☆福祉功労者表彰

☆福祉関係団体連絡会議

☆熊本見守り応援隊

ネットワーク会議

○相談・生活支援事業

福祉課題を抱えた方々の相談を受け止め、個別支援に対応できる体制の充実に努め、関係機関との連携を図りながら相談、生活支援活動に取り組みます。

☆心配ごと相談事業

☆生活福祉資金貸付事業

☆福祉サービス利用援助事業

☆福祉サービス利用援助事業の補完事業

☆軽度生活援助事業

☆生活困窮者自立支援事業

〔総合相談窓口〕

○友愛訪問・交流事業

地域の中で生きがいをもつて暮らせるように、住民相互の交流・支援を促進する活動に取り組みます。

☆ひとり暮らし高齢者交流会

☆ひとり暮らし高齢者交流会

☆在宅寝たきりの方への見舞い訪問散髪

☆在宅高齢者友愛訪問

☆認知症家族交流会

☆氷川町ふれあいカフェ

○地域支え合い事業

地域で支えあう福祉活動の充実を目指し、ふれあいいきいきサロン実施地区拡大、災害時を想定した助け合いの体制づくりに取り組みます。

☆ふれあいいきいきサロン

☆災害時高齢者生活支援講習

炊き出し訓練

○ボランティアセンター事業

ボランティア活動の振興を目指し、ボランティアの登録・あつせん体制の整備、児童・生徒の福祉体験、ボランティア団体の連携強化に取り組むとともに災害ボランティアセンター設置体制づくりに取り組みます。

☆ボランティア登録・あつせん体制整備

☆児童・生徒のワークキャンプ

☆サロンプログラム

☆ボランティア養成講座

☆ボランティア協力校指定

☆ボランティア活動推進協議会の活動支援、連携

○福祉関係団体活動支援・連携

福祉団体の活動活性化を支援するとともに、福祉団体連絡会議等の機会を捉え連携強化に取り組みます。

☆福祉活動支援事業

○災害時・緊急時支援体制整備

☆福祉避難所設置体制整備

☆災害ボランティアセンター設置体制整備

○その他

☆火災見舞い

☆行旅人援護

Ⅲ在宅介護サービス

◇ケアマネジメント氷川

◇デイサービス氷川

◇ヘルパーステーション氷川

◇地域包括支援センター



Ⅳ福祉センターの経営

◇竜北福祉センター管理経営

◇宮原福祉センター及び

ふれあいセンター管理経営

V収益事業

◇収入印紙・熊本県収入証紙の販売

◇自動販売機の設置運営

◇マッソージ器の設置運営

◇タオル等の販売

Ⅵ地域支え合いセンター設置・運営事業

◇孤立防止等のための見守り支援

◇日常生活上の相談や生活支援

◇住民同士の交流会

Ⅶ関連事業

○熊本県共同募金会

氷川町共同募金委員会事務局運営

赤い羽根共同募金運動の実施、助成申請団体の審査及び助成業務等を行います。

○日本赤十字社熊本県支部 氷川町分区分事務局運営

日本赤十字社社員増強・会費募集、災害時における救援物資の配布、救急法等の講習会を行います。

平成29年度 社会福祉協議会予算

社会福祉協議会の主な財源は、社協会費、寄付金や共同募金配分金などの「民間財源」、補助金や受託金などの「公費財源」及び介護保険事業などの「介護保険収入等」となっています。特に地域福祉推進事業の財源は会費等の「民間財源」に支えられておりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

(単位: 千円)

収 入 区 分			29年度予算	支 出 区 分			29年度予算
1	会費収入		3,490	1	人件費支出		153,498
2	寄附金収入		2,010	2	事業費支出		4,569
3	経常経費補助金収入		25,367	3	事務費支出		33,473
4	受託金収入		72,121	4	助成金支出		1,125
5	事業収入		3,189	5	負担金支出		3,290
6	負担金収入		1,350	6	拠点区分間繰入金支出		1,217
7	介護保険事業収入		78,174	7	サービス区分間繰入金支出		6,514
8	障がい福祉サービス事業等収入		1,741	8	その他の活動による支出		6,902
9	受取利息配当金収入		21	9	予備費支出		11,229
10	その他の収入		5,130				
11	拠点区分間繰入金収入		1,217				
12	サービス区分間繰入金収入		6,513				
13	その他の活動による収入		13,879				
	収入合計		214,202		支出合計		221,817
	前年度繰越		84,070		次年度繰越		76,455
	合 計		298,272		合 計		298,272

災害ボランティアセンター設置訓練実施

～受援力を高めよう～

3月12日(日) 氷川町文化センターにおいて、氷川町災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。災害ボランティアセンターとは、災害救助法が適用されるような大規模災害が発生した際に、被災者からのボランティア要請と、全国から救援活動のために集まる災害ボランティアとの繋ぎを行う重要な機関です。当日は約60人の参加があり、センタースタッフ役、ボランティア役と分かれて訓練を行いました。氷川町では初めての訓練でしたが、スムーズな設置運営訓練ができました。また、氷川町婦人会の協力により炊き出し訓練も併せて実施し、訓練後、みなさんで試食も行いました。参加者からは「昨年の熊本地震の際、災害ボランティアセンターと聞いたことはあるが、こういった機関なのかが分かって良かった」との感想もあり、今後のセンター運営に携わっていただくいい機会となりました。



ボランティア受付の様子



被災者からの依頼紹介を行う



炊き出し訓練(氷川町婦人会)

～氷川町地域包括支援センターだより～

地域包括支援センターの
紹介をします！



入浴施設・トレーニング機器有。
お気軽にお立ち寄りください。

何をするところ？

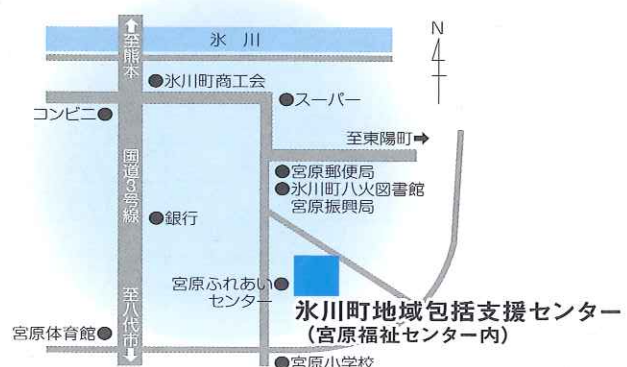
地域包括支援センターは、高齢者の皆さまの総合相談窓口です。皆さまが住み慣れた地域で、安心した生活を続けられるようお手伝いする機関です。健康や医療、介護のことなど、一人で悩まずいつでもご相談ください。

どんなスタッフがいるの？

地域包括支援センターには、6人の職員が在籍しています。看護師、介護支援専門員、社会福祉士で、それぞれの専門的知識を生かして、相談業務や支援を行っています。

〈お問い合わせ先〉

氷川町地域包括支援センター
氷川町宮原福祉センター内
(氷川町宮原702番地5)
☎0965-62-3456



日赤会費募集のお知らせ

5月は赤十字運動月間です

日本赤十字社では、5月1日(月)から5月31日(水)までの1か月間「赤十字運動月間」として全国キャンペーンを展開しています。日本赤十字社が行う災害救護活動や国際救援活動、救急法などの講習普及事業、奉仕団や青少年赤十字活動などは、皆様から寄せられる「会費」を財源に行われています。期間中、各地区の募集員さんが会費募集のため皆様のご家庭を訪問いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

協力会員 500円
会 員 2,000円



善意のご紹介

次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと、ご寄付をいただきました。故人のご冥福をお祈りし厚くお礼申し上げます。ご寄付頂いた浄財は、本町の福祉事業に活用させていただきます。(敬称略・受付順)

氷川町社会福祉協議会／香典返し(平成29年2月21日～平成29年4月22日)

地区名	寄付者	故人	地区名	寄付者	故人
高野道	内山チエ子	内山 悟	沖 塘	元松 勝美	元松 恒雄
梶	梅田 嗣子	梅田 泰博	東上宮	篠原 初義	篠原美須恵
東上宮	篠原喜久子	篠原 幸六	島 地	中村 辰弘	中村トミ子
上鹿島	友田 明美	南崎 光俊	北野津	和田 潔	和田サツ子
東上宮	岩瀬 誠一	岩瀬 久子	宮 園	白石 洋子	椎葉ハルノ
下 宮	村上 芳壽	村上ヨシノ	立 神	高田 利博	高田 利光
東上宮	園田 数洋	園田ツタヨ	今	橋本サチヨ	橋本 勉
東網道	久保 初子	久保アキノ	高 塚	桑原 則明	桑原ハル工
梶	鉄島 治子	鉄島 勲	上鹿島	作原さえ子	作原 充
下 宮	今田 直美	今田 篤	梶	上村 一人	上村 サチ

平成29年度 熊本県介護支援専門員実務研修受講試験のお知らせ

- 試験期日
平成29年10月8日(日)
午前10時開始
- 試験会場
(予定)熊本大学・崇城大学 熊本学園大学
- 受験資格
原則として、保健、医療、福祉の分野で通算5年(一部10年)以上の実務経験を有する方
- 試験案内配布期間
平成29年6月1日(木)～平成29年6月30日(金)
- 試験案内配布場所
熊本県社会福祉協議会(福祉人材・研修センター)
熊本県認知症対策・地域ケア推進課、熊本市高齢介護福祉課
氷川町社会福祉協議会(竜北・宮原福祉センター)
※土・日、祝日を除きます。
- 受験申込受付期間
平成29年6月1日(木)～平成29年7月1日(土)

受 験 申 込 先／社会福祉法人熊本県社会福祉協議会(福祉人材・研修センター)

お問い合わせ先／TEL 096-322-8077 FAX 096-324-5464 ※土・日、祝日を除きます。

住み慣れた地域でイキイキと!

氷川町社会福祉協議会では「ふれあいいきいきサロン」の町内全地区実施を目標に、事業に取り組んでいます。平成29年4月現在、町内39地区中34地区で「ふれあいいきいきサロン」が実施されています。月に1回地区公民館に集まり、健康体操や室内ゲーム、茶話会を実施するなど、参加される方々それぞれが役割を持ち、様々なアイデアを出し合い運営されています。



いきいきと暮らすためには

- 人と会って会話をし大声で笑うこと ○仲間と楽しい時間を過ごすこと
- 定期的に外出する機会があること・・・日常の生活習慣の中に組み込まれていることが大切です。そのすべてが満たされているのが「ふれあいいきいきサロン」です!

また、未実施地区への支援として「お試しサロン」を開催中です。私たちの地区にも「ふれあいいきいきサロン」をとお考えの方、氷川町社会福祉協議会へご連絡ください。



お玉で球送り (原田)



ゴキブリ団子作り (中綱道)



手遊びで大笑い (中大野)

平成29年度 福祉活動支援事業について

氷川町内において自主的な福祉活動を行う団体(個人)を対象に、必要な活動資金の助成、機材の貸与を行います。助成金の額は対象団体(個人)の活動内容・実績等を勘案し、予算の範囲内で決定します。

●助成金交付申請受付期間

平成29年5月1日(月)～平成29年5月31日(水)

●提出書類

所定の助成金交付申請書、事業計画書、自己評価表、予算書、会則、その他活動実績や活動内容の分かる資料等

●お問い合わせ先・提出先

氷川町社会福祉協議会 ☎0965-52-5075

新規採用職員紹介



はじめまして。今年度より氷川町社会福祉協議会の職員となりました、津崎絵美と申します。出身は宇土市です。氷川町の良さを見つけ出し、その良さを活かしながら、一人ひとりが安心して暮らすことのできる地域づくりを皆様とともに進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

行事予定

(5月) ○日赤会費募集

(6月)

- 福祉関係団体連絡会議
- 社協理事会・評議員会
- サロンプログラムボランティア養成講座

将棋大会のお知らせ

- 日 時 5月13日(土) 午前9時～
6月10日(土) 午前9時～
- 会場 宮原福祉センター



※3月の優勝者は

松崎 順一さん(西上宮)でした。

※4月の優勝者は

梅田 隆則さん(立 神)でした。

新規会員募集中! 参加をお待ちしています。